

平成 28 年度新規採択に係る水道施設整備事業の事前評価について

1. 概要

水道課では、水道施設整備費に係る個々の国庫補助事業のうち 10 億円以上の費用を要することが見込まれる事業に対し、必要性、効率性及び有効性等の観点から総合的に評価するとともに、費用対効果分析を行うことにより事前評価を実施することとしている。

2. 評価の実施時期

平成 27 年度

3. 評価結果

平成 28 年度予算に向けた事前評価として、水道水源開発等施設整備事業 4 件及び簡易水道等施設整備事業 1 件について事前評価を行った。

これらの結果は別表のとおりである。

平成28年度予算に係る事前評価結果一覧表

【簡易水道等施設整備事業】

(単位:千円)

都道府県	事業者名	地区名	事業名	工期(年度)		総事業費	便益(B)		費用(C)	B/C	その他の指標による評価	備考
				始	終		総便益	便益の主な根拠				
新潟県	糸魚川市	根知	水道未普及地域解消事業	28	32	1,052,790	3,946,387	井戸整備費の低減 井戸維持管理費の低減 水質検査費の低減	1,494,281	2.64	本事業により、生活用水の安定供給が確保される。	

平成28年度予算に係る事前評価結果一覧表

【水道水源開発等施設整備事業】

(単位:千円)

都道府県	事業者名	補助金区分	事業名 (関連ダム名)	工期(年度)		総事業費	便益(B)		費用(C)	B/C	その他の指標による評価	備考
				始	終		総便益	便益の主な根拠				
北海道	桂沢水道企業団	高度浄水施設等整備費	桂沢浄水場更新事業	H28	H32	8,300,000	19,022,854	水質基準を上回る時の浄水器購入回避便益	14,749,541	1.29	・新浄水場は規模の縮小が図られている。 ・水質的には、恒常的にクリプトスポリジウム指標菌が検出され、対策が必要である。 ・DB方式を導入し、コスト縮減が図られ、代替案よりも効率的な事業である。 ・浄水場を更新し、高度浄水処理を実施することにより、費用を上回る便益がある。 したがって、事業に着手することは妥当である。	
北海道	夕張市	高度浄水施設等整備費	夕張市上水道第8期拡張高度浄水施設等整備費	H28	H28	2,242,500	5,481,877	現行水道施設維持管理費 ボトルウォーター 浄水器設置費 フィルター交換費	3,489,616	1.57	評価の結果より、市民に安全・安心な水を供給する上で有益であると判断されることから、本事業を実施する。	
千葉県	千葉県水道局	高度浄水施設等整備費	ちば野菊の里浄水場(第2期)施設整備事業	H28	H34	44,600,000	278,677,656	・浄水場整備による断水被害回避便益 ・水質改善によるボトルウォーター及び浄水器購入回避便益	95,375,260	2.92	・水道水の安定給水のために早期に進めるべき事業である。 ・江戸川の水質改善が進まない中では、高度浄水処理を導入することは必要な事業である。	
岡山県	瀬戸内市	高度浄水施設等整備費	福山浄水場施設更新整備事業	H28	H32	3,598,000	20,678,000	水質基準を上回る時のボトルウォーター及び浄水器購入回避便益	7,350,000	2.81	福山浄水場は、竣工後40年以上が経過し、施設の老朽化が進み、耐震性能が不足していることから、ライフライン機能の強化、安全・安心な水を安定供給するため、本施設更新整備事業は不可欠な事業である。	